

議会だより

平成29年11月

もろっか

平成29年 第155号 編集 議会広報編集特別委員会
発行 諸塚村議会



もくじ







平成29年度一般会計補正予算	2
平成28年度一般会計決算認定	3
一般質問	4~6
歳入歳出決算に対する質疑応答	7
議会活動報告	8

平成28年度一般会計決算認定


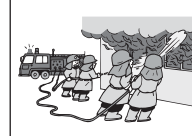



平成29年第3回定例会

歳入額 **37億3397万円**

歳出額 **35億3920万円**

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産費	商工費
					
4579万円	7億1734万円	4億6069万円	1億5911万円	6億7943万円	4408万円

★ 特別会計 ★	
会計名	決算額
国民健康保険	3億8002万円
後期高齢者医療	2764万円
介護保険事業特別会計	2億5694万円
簡易水道事業	2534万円
公共下水道事業	1353万円
診療所事業	2億9985万円
特別会計合計	10億332万円

土木費	消防費	教育費
		
3億3090万円	2927万円	2億519万円
災害復旧費	公債費	
		
2億9361万円	3億9099万円	

総括意見

近年の日本列島は地震、集中豪雨等の自然災害が、いつ発生するかわからない状況である。また近隣諸国の不安定な動向も先行きが懸念されるところである。

そのような中、平成28年度一般会計では、歳入37億3400万円、歳出35億3900万円、歳入で4400万円の1.2%減、歳出で9800万円、2.7%の減で、それぞれ対前年比、減額決算となった。

事業面では、諸塚保育所の新築、椎茸共同選別場改修への補助、農林業への基盤整備、生活道の改良や維持管理等、村民の生活、生産活動へ直結した効果的な執行がなされている。依存財源が83.3%であり自主財源が少ないものの財政状況としては良好である。

今後も厳しい財政運営が予想されるが、村民福祉並びに村民所得の向上を目指し活力ある村づくりを進めることを期待して総括とする。

個別意見

1. 人口減少対策への取り組み
2. 自然災害への事前対策の徹底
3. 森林環境税の早期実現と市町村適正配分への取り組み



決算審査特別委員会

第3回定例議会 平成29年度一般会計補正予算

補正額：1億5700万円

合計 **32億8800万円**

◆一般会計の主な補正内容◆

(単位)万円

〔総務〕	・ 社会保障・番号制度システム改修事業	163万円
〔住民〕	・ 障がい者（児）福祉計画策定事業	135万円
	・ 簡易給水施設整備事業（荒谷・立岩・川内等）	865万円
〔産業〕	・ 椎茸団地ハウス台風被害修繕（ハウス3棟）	254万円
	・ 椎茸共同選別場整備事業補助（42,217千円×1/2）	2,000万円
〔建設〕	・ 林道開設改良事業（村単独工事3路線）	1,000万円
	・ 災害急傾斜地崩壊対策事業（4施設）	315万円
	・ 道路新設改良・村単独事業（測量設計）	807万円
	・ 道路維持補修事業（追加）	2,000万円
	・ 林業施設災害復旧事業（補助・単独工事費）	2,960万円
	・ 耕地災害復旧事業（補助・単独工事費）	170万円
	・ 土木施設災害復旧事業（補助・単独工事費）	5,220万円

◆特別会計の主な補正内容◆

〔国保〕	・ 保険事業費	101万円
	・ 諸支出金	457万円
	・ 予備費	743万円
〔介護保険〕	・ 諸支出金	828万円
	・ 予備費	1,080万円
〔簡易水道〕	・ 衛生費	290万円
〔公共下水道〕	・ 衛生費	323万円
〔診療所〕	・ 総務費	567万円
	・ 医業費	410万円

◆条例の制定◆

〔総務課〕
・ 諸塚村暴力団排除条例の一部を改正する条例の制定

〔建設課〕
・ 諸塚村特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例の制定



宮崎県町村議会議員大会



町村議会議長会

一般質問

今回二名の議員が質問をしました。

①人口減少対策について



梅田 義輝 議員

梅田議員 戦後の高度成長に伴い、大都市への若者流出と過疎化、高齢化、さらに少子化による人口減少はとどまるどころかスパイラル減少に近い様相を呈している。

西川村長 **答** 定住人口は、住まいや教育に関する個人や家族の判断に左右される。いわば、自由に選べる時代に住民に諸塚村に住むという選択をお願いすることになる。経済的側面もあるが、どちらかと言えば、心理的な面も無視できない要素である。

梅田議員 **問** 本村財政は健全に推移していると判断する。むしろ、必要以上の基金積立金は財務省サイドの財政健全化の餌食にされる可能性もある。人口減少時代の財政は、交付税をはじめ財政収入額など縮小傾向になることが予測される。比較的体力があるうちに、重要施策は前倒しで実施する必要性も感じる。基金取り崩しによる積極的財政への転換を図るべきと思うが、村長の考えを伺う。



西川 健 村長

西川村長 **答** 将来、国県の支援がなく、取り組まなければならぬことに、数多くある公共施設の維持管理にかかる費用がある。建物に限らず、村内には縦横無尽に走っている村道、林道などの維持管理にも多額の予算が必要である。このような状況であるが、村として、村内への投資を惜しむと、ますます少子化に拍車がかかるのではと危惧している。費用対効果の検証も実施しようと思う。事業の総検証を行い、重複している事業はないか、効果があるかわかっていない事業はないかなど検証を行い、最も重点的に取り組まなければならない事業に予算を反映すべく、新年度予算に盛り込みたいと考えている。

①諸塚村出身高校生に対する就学補助について(高等専門学校を含む)



田原 尚美 議員

田原議員 諸塚村では中学校を卒業すると同時に、寮や下宿生活を余儀なくされ、保護者は大きな負担を強いられている。諸塚村は子育て環境に恵まれ、支援も行き届いているが、子供は成長するにつけ、心配と金銭負担も大きくなると言われている。

甲斐教育長 **答** 国においても、高校の授業料は国の制度で無償となっており、以前に比べれば保護者の負担は軽減されていると思う。また、国、県、村の奨学金もあるので、先ずはその利用を考えるべきと思う。帰村すれば免除もあり、人口増加にもなる。補助金については慎重に判断をするべきではないかと考えている。



甲斐 誠 教育長

甲斐教育長 **答** まずは、教育委員会の中でこのことについて検討していきたいと思うし、その教育委員会としての考え方を皆さんの意見を聞くような形で検討していきたいと思う。

②子供の医療費助成について

田原議員

田原議員 **問** 入院にかかる医療費助成にいち早く取り組んでいただき、保護者の負担軽減が図られているところである。年々、子育て環境が整備されていく中で、外来受診医療費の助成を求める声が寄せられている。

西川村長 **答** 質問の中に、福祉の充実した村とあるが、総合的に充実した村づくりを目指す産業振興、生活、住まい、福祉、医療、教育などの多岐にわたる補助金や制度の整備検討の必要があると、とらえている。このために、各課の取り組み項目を一覧に取りまとめようとしている。

西川村長 **答** 質問の中に、福祉の充実した村とあるが、総合的に充実した村づくりを目指す産業振興、生活、住まい、福祉、医療、教育などの多岐にわたる補助金や制度の整備検討の必要があると、とらえている。このために、各課の取り組み項目を一覧に取りまとめようとしている。そのように、全体的なものを見ながら、どれも拡充を考えたい、そして、新年度の当初予算に反映できればと考えている。

田原議員

田原議員 **問** 昨年、民生委員との意見交換会の際にも、そのような意見があった。人口減少対策とか、福祉の充実がし

歳入歳出決算に対する 質疑応答(総括質疑)

(質疑)

①移住・定住について

- ① 移住定住の一番の問題点は何か。
- ② 移住してくる場合に、住宅のゆとりはあるのか。

答弁

- ① 一番の問題点は、住まいの問題である。また、他の地域の方が住まわれるので、それに対する集落の方の抵抗はいまだに根強いものがある。
- ② 候補としては、空き家がある。平成25年から調査をし、村内の空き家を概ね把握している。

(質疑)

②諸塚村産材の活用について

諸塚保育所新築に77.5%の村産材を使用しているとの説明であるが、その根拠を教えてください。

答弁

この内訳については、施工業者と設計監理者設計監理をしている設計会社、その出来高の証明書等を参考にした資料である。

(質疑)

③人手不足、人材不足について

- ① 森林整備事業、特にこの下刈りの2回刈りが、消化されたのか伺う。
- ② ウッドピア運営補助が、2,000万円から1,000万円に減額となっているが、ウッドピア職員の賃金はアップしているのか。

答弁

- ① 下刈りの2回刈りは現状として、そこまで手が回らなかった状況である。
- ② 若手職員を主体に、全体的な賃金の底上げを行った。

そこが聞きたい

(質疑)

④ふるさと納税、家屋調査、防犯灯の補助について

- ① ふるさと納税は、村民に対してどのような効果があるのか。
- ② 家屋調査が行われたが、どのような結果で今後の利活用は。
- ③ 諸塚と滝ノ下地区に対して、防犯灯の補助事業があるが、各地区の防犯灯も補助対象とする考えはないのか。

答弁

- ① 諸塚村の特産品が返礼品となるので、生産者の収入、及び村のPRを含めて、色々な面で波及効果はある。
- ② 2年ぶりに全家屋調査を行ったので、その結果は精査中である。
- ③ 防犯灯については、諸塚、滝ノ下地区は、子どもの通学路でもあるので、年間の電気料金の約半分を助成しているが、その他の地域の防犯灯の補助はない。

(質疑)

⑤地域おこし協力隊について

地域おこし協力隊本来の職務は？

答弁

地域おこし協力隊は観光協会の指導の元に業務を行っている。

(質疑)

⑥商工会事業について

商工観光費に平成28年度は後継者商業基盤支援事業で予算があったが、継続は。

答弁

商工会の活性化のためにも活用をお願いしているので、今後とも継続する予定である。

③FSC森林 認証材の活用 について

田原議員

諸塚保育所建築における諸塚村産材の使用については、FSC森林認証の村諸塚村において、モデルとなるべき公共の施設に、なぜ認証材が使われなかったのか。また、森林認証審査のために、毎年百万円超の支出をしているわけであるが、今後も森林認証の村として継続して取り組んでいくのか、村長の考えを伺う。

つまり図られれば、女性の方も安心して子供が産めるような環境が整うと思うので、前向きに取り組んでいただければと思う。

西川村長

諸塚木材加工センターから大半の構造材が利用されなかったことについては、住民福祉課、設計業者、施工業者、諸塚木材加工センターとの連携不足及び執行時において、建築設計業務特記仕様書が認定工場の認定材利用の記載がなかったこと、この二点が問題である。

今後の森林認証の村としての取り組みについても、近年、東京オリンピックピック・パラリンピック関連施設の使用木材は認証材であることなどの条件など、今後ますますすこすこという使用条件となってくるということも予想されるので、今後ともこのまま継続して取り組んでいくということである。

主な活動



町村議会議員大会



決算審査特別委員会



南三陸町
震災復興状況調査



入郷地域開発期成同盟会本庁要望



林野庁へ要望活動

議会活動報告

月	日	行事名	場所
8	10	入郷地域開発期成同盟会本庁要望活動	宮崎 市
	10	地方行政問題協議会・正副議長研修会	宮崎 市
	17	九州中央道建設促進地方大会	熊 本 市
	18	日向市・東臼杵郡議長連絡会の国県への要望活動	延岡・日向市
	23	日向市・東臼杵郡議長連絡会の国県への要望活動	県 庁
	31	議会運営委員会・議会全員協議会	役 場
9	1	町村議会議長会役員会	宮崎 市
	5	国道503号期成同盟会総会・総決起大会	中 公 場
	6	本会議開会(～15日)	役 場
	7	決算審査特別委員会	役 場
	8	〃	〃
	10~12	全国和牛能力共進会・連合所管事務調査	仙台市・東京都
	13	決算審査特別委員会	役 場
10	14	決算審査特別委員会(まとめ)	〃
	15	第3回定例議会本会議(最終日)	〃
	6	第3回臨時議会	役 場
	12	県議長会臨時総会・議員大会・講演会	綾 町
	20	三村議会協議会総会・研修会	椎 葉 村
	23	広域連合議会運営委員会	日 向 市
26	森林・林業・林産業活性化九州大会	大 分 市	
27	連合所管事務調査	熊 本 市	



知事要望



児童・民生委員と意見交換会



林野庁意見交換会

随 想

「シキミ栽培」

堀 英博

平成19年の秋だったか、中央公民館で産業振興大会が開催され、米良指導員から新規作目として、ユズとシキミの栽培が紹介されました。当時腰痛に悩まされ、定年後に何をするか模索していた頃でしたので、体の負担を考慮し、年中出荷できるシキミの栽培に取り組むことに決め、山林を処分し平成20年に25アール600本を植栽しました。シキミは7年で成木になります。3年目で芯止め、横枝から萌芽が伸びてきて4～5年で少しずつ出荷が始まります。葉っぱが勝負の品なので、害虫、特にアブラムシとコナジラミに気を付けなければいけません。防除は毎月一回、春から秋まで行います。この7年ほどは場所の平らな林地を伐採し、挿し木で少しずつ植栽を続けました。現在、4品種約80アールほど植栽し、内50アール分が出荷できるようになりました。夏場の下草刈り、防除と大変ではありますが、生涯現役で頑張ります。

編 集 後 記

山粧う秋、十月に入り朝夕ようやく秋の気配が感じられたものの、長雨続きで爽やかな秋空が恋しい今日この頃。

今年、最後の議会だよりが皆様の手元に届く頃には、爽やかな秋空を期待したいものです。これからも読みやすい広報紙づくりに努めてまいりますので、引き続きご愛読をよろしく願いいたします。

(編集委員) 田原尚美 堀 英博 岩本國和 山本利夫

議会傍聴してみませんか？

次回の定例会は12月8日(金)開会予定です。

心よりお待ちしております。

お問い合わせ：議会事務局

TEL 65-1130